

教科	音楽	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現領域(歌唱) ○校歌 ○日本の歌 ○国歌	10	・無理のない自然な声の出し方で歌う。 ・歌唱表現するための基礎的な技能を身に付け、曲想を感じ取って表現する。	・声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。 ・音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり)や技能(音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(歌唱・合唱) ○混声合唱導入 ○クラス合唱曲	16	音楽のまとまりを生かして、合わせて歌う。	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(器楽) ○日本の伝統楽器	5	和楽器の基本的な奏法を身に付ける。	・楽器の音色と奏法との関わりを理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するための身体の使い方や楽譜の読み方などの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(和楽器の歴史や楽曲について)や技能(奏法や身体の使い方)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(創作) ○リズム創作 ○楽典	5	構成や全体のまとまりを考えながら音楽をつくる。	・リズムの反復や重なり方などの特徴を理解している。 ・リズムを感じ取りながらテーマに沿った作品をつくる技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(リズムの反復や重なり方などの特徴)や技能(テーマに沿って創作する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
鑑賞領域 ○ドイツ歌曲 ○日本の伝統音楽 ○様々な合唱曲 ○弦楽合奏曲	9	楽曲の形式の違いを鑑賞する	楽曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識(楽曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わり)を得たり生かしたりしながら、作曲当時の歌曲の意味や形式の違いについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

教科	音楽	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現領域(歌唱) ○ガイダンス・校歌 ○日本の歌 ○国歌	5	曲の特徴を生かして歌う。	・言葉の発音と音域に応じた発声との関わりについて理解している。 ・全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(言葉の発音と音域に応じた発声との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(歌唱・合唱) ○混声合唱曲 ○クラス合唱曲	13	曲想を味わいながら合わせて歌う。	・曲想と楽曲の構造との関わりについて理解している。 ・他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(器楽) ○日本の伝統楽器	5	和楽器の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫する。	・曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するための身体の使い方などの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(和楽器の歴史や楽曲について)や技能(奏法や身体の使い方)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(創作) ○音楽創作 ○楽典	5	音階の特徴を生かして音楽をつくる。	・曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するための身体の使い方などの技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(音階の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴)や技能(課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
鑑賞領域 ○交響曲について ○日本の伝統芸能 ○諸民族の音楽 ○オーケストラの音楽	7	多様な表現を味わって鑑賞する。	楽曲の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識(楽曲の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わり)を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

教科	音楽	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現領域(歌唱) ○校歌 ○日本の歌 ○国歌	6	曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして歌う。	・言葉の発音と音域に応じた発声との関わりについて理解している。 ・全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(言葉の発音と音域に応じた発声との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(歌唱・合唱) ○混声合唱曲 ○クラス合唱曲	13	曲想を味わいながら合わせて歌う。	・曲想と楽曲の構造との関わりについて理解している。 ・他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(器楽) ○日本の伝統楽器	3	和楽器の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫する。	・曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するための身体の使い方などの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(和楽器の歴史や楽曲について)や技能(奏法や身体の使い方)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(創作) ○楽曲創作 ○楽典・著作権	4	オリジナルの音楽をつくる。	・旋律の反復とその効果などから構成上の特徴を理解している。 ・課題に沿った音や旋律の組み合わせを選択する技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(旋律の反復とその効果などから構成上の特徴)や技能(課題に沿った音や旋律の組み合わせを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
鑑賞領域 ○交響詩について ○総合芸術(日本・西洋) ○オーケストラの音楽	9	多様な音楽表現を味わって鑑賞する	様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	鑑賞に関わる知識(交響詩及び歌舞伎やオペラの音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。